

2024年2月4日 主日礼拝 〈洗礼式・誕生祝福式〉

司 会 ①高木兄 ②吉原兄 ③原兄(足立姉)

祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌498番「歌いつつあゆまんハレルヤ！」
(主は道を日々つくれる)(ああ感謝せん)

主の祈り

聖 書 ①② ルカによる福音書18章18～30節(P120)
③ ローマ人への手紙12章9～18節(P249)

音 楽 独唱:西田美栄子姉・ピアノ:田中隆美姉(V)

メッセージ ①② 「3秒の感謝」 小林詩音副牧師
③ 「エクセレンス(卓越性)の追求」
大川従道牧師 (2011年)(V)

賛 美 「主に任せよなが身を」(讃美歌291番) 献金
(能登半島被災地への支援)

頌 栄 「シャローム・シャローム」 アーメン
祝 禱 大川従道主任牧師

「あなたがたは、できる限りすべての人と平和に過ごさなさい。
(ローマ十二の十八)」

【大和ニュース】

☆受洗おめでとうございます。①青木兄(バルナバ会)青木さんのご主人。

☆大川牧師は明日から長崎の26聖人記念聖会のご奉仕へ出発されます。御礼を祈ります。

☆聖書読み競争が大流行！赤鉛筆をもってドンドン読み、祈りましょう。

- ・ 本日、プレミアムクワイア(12:45泉会堂)、バルナバ会(13:30泉3F&ZOOM)、J.PLUS礼拝(14:30 森チャペル 青年、学生、中高生、大集合！)。
- ・ 第4礼拝(18:00)は清水補教師「心に主イエスを」。

* 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は久保田副牧師。映像は「26聖人
⑤ゴンサーロと秀吉」 * 献金は能登半島への支援といたします。ご協力を感謝します。

・ 土曜日は、講壇の生け花、会堂掃除(12:00)、聖歌隊&オーケストラ(13:30)

* 折り鶴は1月をもって集める事を終了しました。皆様のご協力感謝します。

* 主日礼拝人数 ①68人(194) ②194人(169) ③222人(318) ④19人=1184人
定例祈禱会 水曜68人(136) 木曜122人(78)=404人 ※()内はYouTubeのライブ人数

石の枕

1517年から始められたプロテスタント教会は、ルターやカルバンを中心に大きく変化した。世界の各神学校は、必死に学び、その学問的レベルは世界の精神界に大きな影響を与えた。しかし、その変化を整えることに全勢力を用いている内に、カトリックの大変化に気づかずに進んでしまったといっただろう。かたやカトリック教会は、自らの弱さや欠けに真剣に取り組み、驚くべき変化へと進化した。まさに「マイナスはプラスになる」である。

私たち日本人が注目すべきは、イグナチオ・ロヨラやフランシスコ・ザビエルによる改革の真実であろう。詳しく語る紙面はないが、私たちプロテスタントの群は、真剣にその変化から学ぶべきであろう。

明日は、1597年2月5日に秀吉の命のもとでなされた「26聖人の殉教の記念日」である。私大川は、カトリックに対して、我々の無礼な態度を何回も謝罪して来た。今回は、被爆地でもあり、大勢のキリシタン殉教地でもある長崎での聖会での説教者としての特権にあずかった。まことに天よりの恵みのチャンスである。説教者として任務が第一であるが、長年心にとどめて来た平和宣言と共に謝罪の告白をきちんと行って来たい。どうか、お祈りください。

近代日本では、カトリックの代表的存在として、渡辺和子先生がおられます。先生が帰天(召天)される十日前に校閲を終えられた遺作『どんな時でも人は笑顔になれる』という本がある。(PHP研究所)その本の一頁目に、“人は欲しいものを祈り願い、神様は必要なものをくださる。学歴や職歴よりもたいせつなのは、「苦歴」。(「悲歴」「病歴」「悩歴」「貧歴」)(カッコ内は大川加筆)”

という言葉が、目に飛び込んでくる。

苦しいこと、悲しいこと、病むこと、悩み落ち込むこと等々は、みな嫌なこと。逃げたいことだ。しかし、この否定したい苦しみや痛みや不自由の真中で笑顔をもって受けとめ、感謝と賛美を叫びつつ天国へ召されていった26人。

みんなみんな“I am so Happy in Christ.”と告白しつつの帰天であった。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!
Aコース:マタイ23章~26章 Bコース:出エジプト記34章~レビ記12章